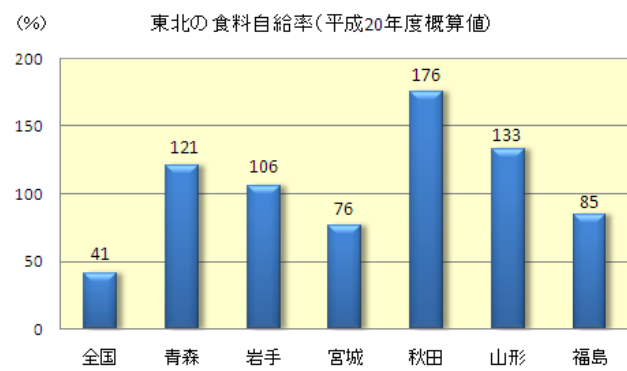


自然の恵みからみた東北及び日本の現状

- 東北地方は農業・林業・漁業とも盛んで、食糧自給率も高い（図①）。
- 水陸稲の収穫量は東北が最も大きく（図②）、林業産出額も中部と九州に次いで3位（図③）、漁業ではマグロ等の海面漁業とともに、カキ・ホタテ等の養殖も盛ん（図④）。
- 東北地方は生態系サービスの供給源としても重要。
- 東北地方の水資源賦存量は全国で最も大きい（図⑤）。
- 陸上風力導入ポテンシャルや熱水資源開発導入ポテンシャルも大きく、今後の自然再生エネルギー供給の側面でも日本を支える重要な地域（図⑥）。

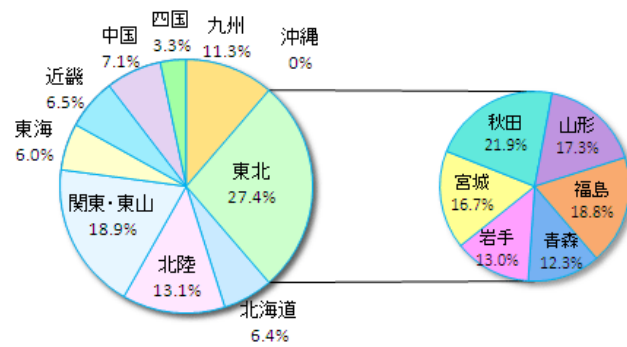
①食糧自給率



出典：農林水産省平成20年度都道府県別食料自給率

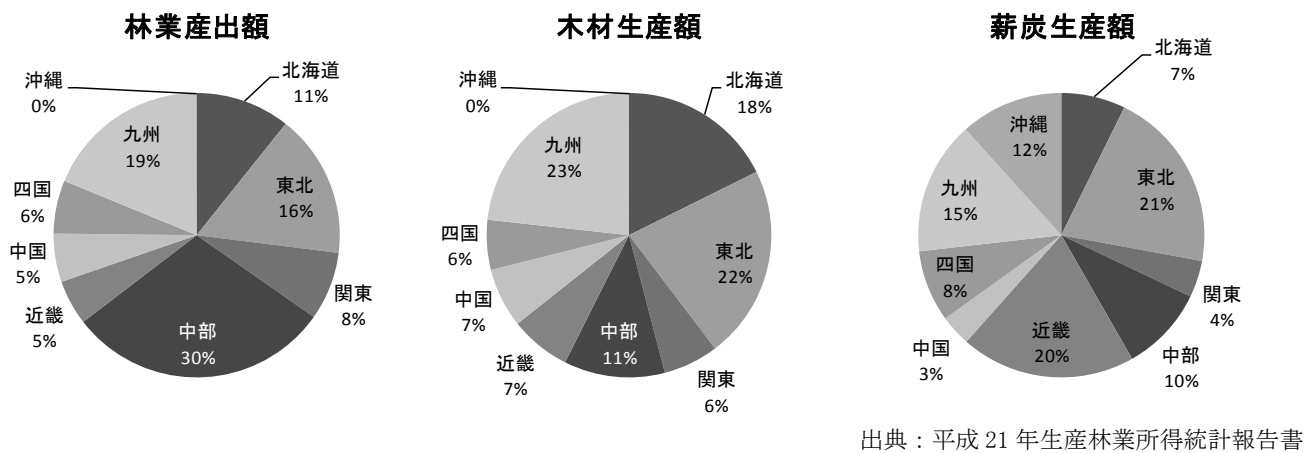
②水陸稲の収穫量

水陸稲の収穫量の割合(平成21年産)



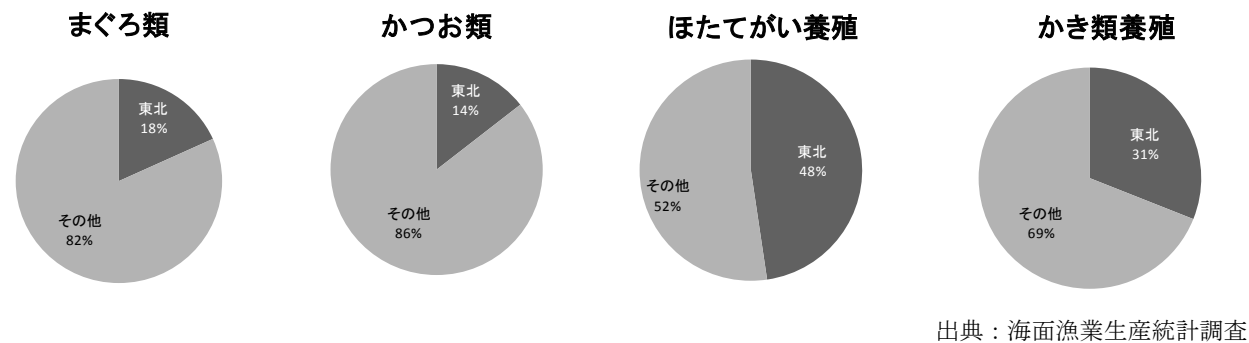
出典：農林水産省「平成21年産水陸稲の収穫量」

③林業生産



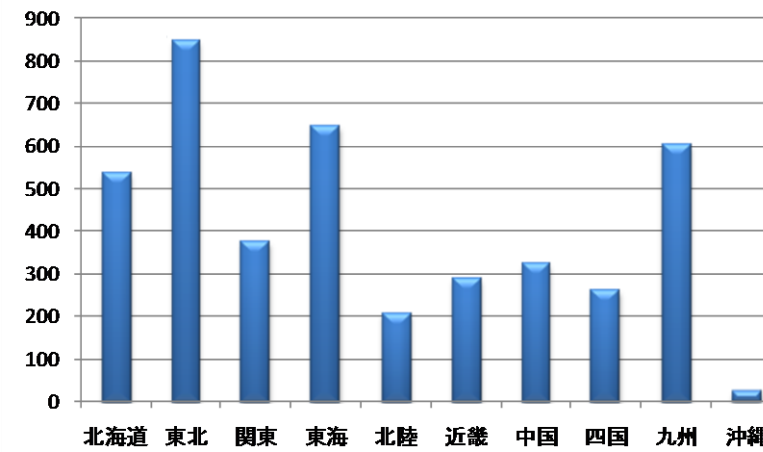
出典：平成21年生産林業所得統計報告書

④漁業生産



出典：海面漁業生産統計調査

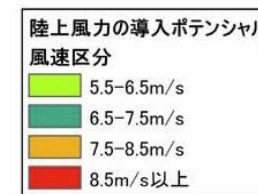
⑤水資源賦存量(※1)



出典：国土交通省
(<http://www.mlit.go.jp/common/000120856.pdf>)

※1 水資源賦存量は、降水量から蒸発散によって失われる水量を引いたものに面積を乗じた値で、平均年の水資源賦存量は1976～2005年の平均値で、国土交通省水資源部調べ。

⑥陸上風力導入ポテンシャル及び熱水資源開発導入ポテンシャル(※2)



出典：環境省「平成22年度再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査報告書」

※2 導入ポテンシャルは、陸上風力及び熱水資源それぞれの賦存量に対して、各種の自然条件や法的制約条件を考慮して算定したもの。

